

令和元年度市民公益活動支援補助金（地域まちづくり型）事業報告書

団体名 南花台まちづくり会
代表者 中源 裕司

事業名称：子ども子育て支援拠点（仮称：南花台キッズステーション）の開設

1. 事業目的

南花台まちづくり会では、子育て世代のお父さんやお母さん（以下、子育て世代）が、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう、地域全体で子育て世代に寄り添い、子育てに対する負担や不安・孤立感を和らげる子ども子育て支援をめざしています。

そのため、子育て世代が子どもと向き合え、子育ての相談や情報交換のできる場所として、南花台キッズステーションの開設に取り組みました。

南花台キッズステーションの目標、

- 1) 地域の子どもの笑顔を増やしたい
- 2) 子育てしているお母さん、お父さんの力になりたい
- 3) 地域で子育てを支え合う場所を作りたい

2. 事業経過

「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業の一つで、まちづくりコミュニティ拠点である「コノミヤテラス」と連携して本事業を進めた。

1) 南花台キッズステーションのオープンに向けての準備

- ①「こどもまつり」の開催（令和元年7月25日） 資料-1

本事業の周知とスタッフの募集を兼ねて、コノミヤテラスで開催

子ども45人、大人35人（7人が見守りサポーターに応募）が参加

- ②スタッフ募集の広報活動開始（令和元年9月～）

- ③旧ヤナセ薬局跡のリニューアル工事（令和元年9月～） 資料-2

コノミヤ南花台店2階の旧ヤナセ薬局店舗をコノミヤテラス「黄色の部屋」にリニューアルした後、キッズステーションとして整備した。

○旧ヤナセ薬局跡の清掃、壁の塗装

・中学生、大学生、主婦の方々が協力してくれました。

○授乳、おむつ替えのための授乳室（飲食も可）を作り、ベビーベッドを設置

・ベビーベッドは地域の方からの寄付

○床はマット敷き、ボールプールや遊具を設置（補助金で購入）

○手作りの本棚やシューズボックスを設置（材料は河内材）

・コノミヤテラスの関谷さんの協力が有難かった

○危険防止のため、棚などの角をクッションで覆う

○おもちゃや絵本などの遊具、掃除機や時計などの備品を設置

・地域の多くの方から寄付がありました。

④オープニングセレモニーの開催（令和元年11月16日） 資料-3

島田市長を始めとする多くの来賓が出席して賑やかに開催できました。

子ども達は遊具で楽しく遊び、大人たちは子どもたちを見守りながら、歓談していました。

2) 南花台キッズステーションでの活動

①「ふれあいテラス」のスタート（令和元年11月） 資料-4

○未就学児とその保護者を対象とする憩いの場「ふれあいテラス」は、週1日（隔週で月曜日と木曜日）の開催でスタート

○令和2年1月～2月末：月曜日と木曜日の週2日（10時～16時）の開催
募集活動によりスタッフ人数が増え（2月現在、30人）、人数制限なしで開催
感染防止対策を徹底（アルコール消毒、空気清浄機（補助金で購入）の設置）

・来場者数：月100人以上（表1を参照）

お弁当を持ち込み、食事をして、長時間遊んで帰る親子も多い

・来場者の感想

おもちゃで遊べる部屋、授乳室、飲食のできる部屋があるので良い
部屋が広くて、子どもがハイハイできる

お弁当を持ち込めてゆっくりできる

買い物もできて便利

同世代の方と育児に関する話ができるのがうれしい

親の世代であるサポーターの方と交流できるのが良い

②「ふれあいテラス」の閉鎖（令和2年3月～7月中旬）

○新型コロナウイルス感染防止のため、閉鎖する

③「ふれあいテラス」の再開（令和2年7月16日～11月末）

○7月16日～7月末：週2日（月曜日・木曜日）、午前と午後に開催

午前（10時～12時）、午後（13時～15時）、各5組限定

○8月～11月末：週2日（月曜日と木曜日）、午前のみ開催（5組限定）

④「ふれあいテラス」の再開（令和2年12月～令和3年6月中旬）

○新型コロナウイルス感染拡大による「緊急事態宣言」の発令のため、閉鎖

⑤「ふれあいテラス」の再開（令和3年6月21日～） 資料-5

○「緊急事態宣言」解除のため、週2日、午前のみ開催（5組限定）

3. 事業効果

1) 子ども子育て拠点としての存在感

①南花台の方はもちろん、南花台以外の地域の方も多く来場し、子育て支援の拠点として重要になっています。広報活動の効果もありますが、SNSでママからママに広がり、市内全域にキッズステーションのことが知られつつあります。

2) 地域の方からのサポートの増加

①子どもの見守りをするスタッフは増加し、新型コロナウイルス感染拡大前の令和2年3月時点のスタッフ登録者は30人に達した。

②地域の方々から、おもちゃ、積み木、絵本などの遊具、時計、掃除機、ポットなどの備品の寄付があり、経費の面で非常に助かりました。

3) 他団体によるキッズステーションの利用

- ①南花台福祉委員会と南花台3丁目福祉委員会が実施している子育て事業でキッズステーションを使用するようになった

4. 今後の展開への期待と課題

新型コロナウイルス感染拡大という異常事態のため、「ふれあいテラス」の開催時間の短縮や来場者数の制限に加え、来場者の体温チェック、手の消毒を徹底しました。さらに、2方向の窓を開けて部屋を換気し、空気清浄機もフル稼働しました。

また、開催前後の部屋の掃除や消毒、おもちゃの消毒を徹底して行うなど、スタッフの大変な努力とチームワークのおかげで何とか進んできました。

当分、平常通りの運営はできませんが、新型コロナウイルス感染が終息することを願い、キッズステーションが、親子のホッとできる場所、地域住民との交流の場となるために、下記のように活動していきます。

- ①部屋の掃除、部屋や遊具の消毒など衛生面を重視して運営する
- ②ふれあいテラスの開催日を月曜日と木曜日だけでなく、もっと増やす
- ③キッズステーションの利用率を高める。(他地域の子育てグループの利用)
- ④南花台まちづくり会として、キッズステーションについてもっとPRする

そして、毎日、キッズステーションで子どもが遊び、笑い声が聞こえるようになれば良いと思います。